

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和5年1月21日

③事業者情報

名称：社会福祉法人 大分県福祉会 母子生活支援施設 別府厚生館	種別：母子生活支援施設
代表者氏名：理事長 有松一郎	定員（利用人数）16世帯（27名）
所在地：〒874-0939 別府市立田町3番32号 TEL：0977-22-0418	

④総評

◇評価の高い点

【施設経営をとりまく環境と経営状況が明確に把握・分析されている】

大分県母子生活支援施設協議会会長、大分県社会的養護推進計画策定委員である館長は、社会福祉事業全体の同行や母子生活支援施設の動向を把握し施設経営をとりまく環境と経営状況を分析している。

【施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。】

館長は、理念、経営方針を基本に、利用者に対等な関係づくりをめざし、「利用者の意見を極力聴くこと」「上から目線にならないこと」を常に職員に表明し理解を図っている。

【母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。】

中長期計画により、面談室の改修整備についても実施を行い、相談や意見を述べやすスペースを確保している。相談や意見については、利用児者に話しやすい職員を選択できることを周知している。普段の母親と子どもの表情や態度からも気持ちや意見を読み取るよう日常からの会話に努めている。

【母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。】

児童自治会で活動についての課題や遊びのルールなど自分たちの生活全般について検討され自律性や責任感が養われるような支援が行われている。母親には常会にて情報提供を行うことで自らの権利を学び、自主的に生活改善の意見を伝える機会を設けていることにより自律性や責任感などが養われるような支援が行われている。

【就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。】

母親への理解を求めるために職場に同行するなど職場との関係調整を行っている。

◇改善を求められる点

【経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。】

事業経営上の課題、苦慮している事項として、入所世帯の確保、施設の老朽化、施設の活用の在り方、人材確保を把握・分析している。施設の多機能化等含め、解決・改善に向けて具体的な取組が進められることを期待する。

【実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。】

実習生等の支援に関わる研修・育成についてのマニュアルを整備することを期待する。

【支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。】

基本的な相談・援助技術に関するものだけでなく、支援の実施時の留意点や母親と子どものプライバシーへの配慮等の業務手順等も含まれた支援全般にわたっての標準的な実施方法の文書化期待する。

【子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。】

子どもが自分自身を守るための知識や方法について、定期的な学習会を行い分かりやすく周知する方法が検討されるよう期待したい。

【母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。】

退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画が作成されることに期待したい。

【子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。】

専門的なプログラムに基づいたグループワークの導入を検討することに期待したい。

【子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。】

子どもに対して性教育のあり方についての学習会などの実施についての検討を期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

利用者支援にかかる課題について、前回からの改善が十分でない点もあり、今回の評価で明らかになった課題と併せて、ご指摘いただいた分析・検討の結果に基づいて改善を行っていくよう真摯に取り組んでいきたいと思えます。
改めて取り組みについて、振り返る機会をいただきありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）